

2023 年度グローバル・オープン科目：履修の手引き

●グローバル・オープン科目とは

キャンパス横断型の科目群で、次のような特長があります。

- ★ すべての科目は英語を教授言語としています。
- ★ 1年次生から履修できる科目があります。
- ★ 多くの科目が少人数で開講されます。
- ★ 一定の単位修得で「修了証」が発行されます。

3キャンパスの授業開始日は
春学期：4/7（金）
秋学期：9/20（水）

●履修登録方法

下記「履修上の注意」を読んで、各学部の「履修の手引き（履修要綱）」で内容を必ず確認し、他の科目と同じように各学部で定められた通常の履修登録期間内に登録手続きを行ってください。

●履修上の注意

- ・初回授業に必ず参加し、担当教員から履修許可を受けてください。定員のある授業では、選抜が行われる場合があります。ただし、ILAC 主催科目については各学期第1回目の授業の前々日までに学習支援システムで仮登録をしてください。
- ・講義のテーマについてある程度の予備知識を必要とする科目もあります。初回授業前に WEB シラバスを必ず読んで授業に臨んでください。
- ・開講曜日・時限・教室等に変更がある場合や、レポート提出、試験等の情報は、学習支援システム（Hoppii）や主催学部等の WEB 掲示板に掲載されますので、ご注意ください。
- ・開講校地は、原則として、各科目の主催学部等の所在地となります。特にキャンパスの間違いのないよう留意して計画を立ててください。
- ・他キャンパスの授業を受講する場合には、同一曜日に自学部の授業を受講できないなど制限がある場合があるため、各学部の履修の手引き等で事前に確認してください。
- ・市ヶ谷リベラルアーツセンター（ILAC）主催科目の履修について、法学部・文学部・経営学部・国際文化学部・人間環境学部・キャリアデザイン学部の学生は、単位認定先について必ず各学部の履修の手引きを確認してください。
- ・秋学期科目の一部には、春学期に履修登録の意思を教員に表明し、履修許可を予め得る必要のある科目があります。秋学期科目の履修許可を得ないで春学期に登録した場合、履修を取り消される場合がありますので、十分に留意してください。
- ・秋学期が最初のセメスターとなる秋季入学生や交換留学生は、その年度の春学期に履修することが前提となる科目があり、第一セメスターに履修できない場合があります。
- ・国際文化学部・グローバル教養学部の主催科目、及び市ヶ谷リベラルアーツセンター（ILAC）が主催する一部の科目を履修する場合は、一定の英語能力基準が必要です。詳細は、2023 年度グローバル・オープン科目一覧を確認して下さい。
- ・デザイン工学部主催科目は、市ヶ谷田町校舎で開講されます。
- ・単位の取り扱いについては、多くの学部で卒業所要単位として決められた単位数まで加算されます。単位認定に関する詳細や卒業進級の要件については、必ず各学部の「履修の手引き（履修要綱）」等で確認してください。履修登録時には他の専門科目と同様に年間履修の上限単位数に含まれます。

●6つの領域について

◆「ビジネス&マネジメント」領域

多様なグローバル・ビジネスの現状に触れ、社会に貢献していくための基盤能力を養い、海外進出やグローバルブランド構築を考察する機会を提供します。中級・上級科目に進むに従い、ビジネスモデリングやビジネス実践に関するスキルも学べる、卒業後のキャリア形成に役立つ科目を用意しています。

◆「ビジネス&エコノミクス」領域

経済学のコンセプトを用いて、グローバルに展開する企業活動の現状や、国際競争力を持ったビジネスの可能性について考える力を身につけます。世界経済の中の日本について歴史的な視点も入れながら学ぶとともに、ビジネス・コミュニケーションの実践的な基礎、さらに経済学や国際経済の基礎理論とともに世界の地域研究を学びます。

◆「国際関係」領域

国際社会の仕組みや諸問題に対する理解を深めるために、伝統的な国際政治学だけでなく、国際政治経済学や国際法学、外交政策論、政治学、社会学等、様々な視点から学際的研究を行います。

◆「社会と文化」領域

所属学部の専門分野以外にも目をむけ、グローバルリーダーとして活躍する人材に必要な知識をより広く学び、異文化理解、文学、歴史、思想、宗教、心理学、言語学などの学びを通して、文化や価値観の相違の認識を培う場を提供しています。

◆「実践英語」領域

学部を越えて、より実践的な英語能力を磨くことのできる場を提供します。少人数で開講される授業を通じて、プレゼンテーションや語彙力の強化をはじめ、英語によるコミュニケーション能力をさらに身につけたい方にお勧めします。

◆「科学・技術」領域

変化の激しいグローバル化に対応し、世界を舞台に活躍できる基礎を築くための科学技術系の科目群を用意し、英語の講義受講によるグローバル体験とともに、横断的に専攻以外の理工学分野の概要を知り、幅広い知識の習得、問題解決能力を涵養することをめざします。

●修了証について

上述の各領域で12単位以上取得した方には、所定の申請により「修了証」が発行されます。修了証の申請は、グローバル教育センターにて行います。詳細については、春学期は2023年5月、秋学期は2023年12月ごろにグローバル教育センターHPでご案内します。

以上

2023年度グローバル・オープン科目/学部別登録単位の上限と単位の取り扱いについて

グローバル・オープン科目の修得単位は多くの学部で卒業所要単位として決められた単位数まで加算されます（下表参照）。単位認定に関する詳細や卒業進級の要件については、必ず各学部の「履修の手引き（履修要綱）」等で確認してください。履修登録時には他の専門科目と同様に年間履修の上限単位数に含まれます。

所属学部		認定先科目	履修単位数上限等 ※詳細は履修の手引きで確認
法		自由科目	認定される自由科目全体で20単位以内
文		学科で異なるため、履修の手引きで確認すること	
経営	2018年度以前入学者	連環科目	認定される連環科目全体で20単位以内
	2019年度以降入学者	グローバル・ビジネス/GBP科目	認定されるグローバル・ビジネス/GBP科目全体で30単位以内
GBP		Courses Offered by Other Programs	認定される「Courses offered by Other Programs」全体で20単位以内
国際文化		自由科目	入学年度によって、卒業所要単位として認められる単位数が異なる。詳細は、履修の手引きを参照すること。
人間環境		自由科目	認定される自由科目全体で20単位以内
SCOPE		Global Open Courses	上限なし
キャリアデザイン		自由科目	認定される自由科目全体で16単位以内
GIS		学部外科目	2016年度入学から適用（履修の手引き参照）
デザイン工		卒業所要単位外の科目として年間履修上限単位内で認定	
経済		自由科目	上限なし 「自由科目」としてのみ認定される。下記の単位数以上を履修する場合は、各学科の卒業所要要件に注意して履修すること。 経済学科 20単位 国際経済学科 12単位（16単位） 現代ビジネス学科 18単位（16単位） 注：（ ）内は2015年度以前入学生
IGESS		Refer to the IGESS Student Handbook	
社会		自由選択科目	1～4各年次で4単位以内
現代福祉		自由科目	認定される自由科目全体で20単位以内
スポーツ健康		視野形成科目	16単位以内
理工		公開選択科目	2016年度入学生から適用。認定される公開選択科目全体で12単位以内 注：2016年度～2018年度入学の創生科学科生のみ20単位以内
情報科学		公開選択科目	2022年度入学生から適用。認定される公開選択科目全体で4単位以内 注：2021年度以前入学生は、自由科目として卒業所要単位外で上限なし
生命科学部		自由選択科目	2017年度より上限4単位認定